

学校経営方針

1 学校教育目標

心身ともに健康で、自ら創り出す生徒の育成

- ・自らを律し、他を思いやる
- ・自ら強靱な体に鍛える
- ・自ら進んで勉強する

2 本年度の重点目標

一人一人のよさを伸ばし、互いに学び合い、共に高め合う生徒の育成

3 学校経営の方針

- 生徒及び教職員の健康・安全を第一義とし、健康管理、事故防止に努める。
- 教職員一人一人が学校経営の参画者としての自覚をもち、目標を共有し、ベクトルを一致させて組織で取り組むよう努める。
- 地域の学校としての意識をもち、誠意をもって地域の人々と交流し、学校、家庭、地域が一体となる地域に根ざした学校づくりに努める。

(1) 確かな学力の育成と個に応じた学習指導の充実

- ① 発問や板書等を工夫して分かる授業を実践し、生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、確かな学力の育成に努める。
- ② 「聞く、話す、書く、読む」等、目的や条件に応じた言語活動の充実に努める。
- ③ ねらいを明確にした授業を構想し、個に応じた学習指導の工夫に努める。
- ④ 学習の成果を振り返る活動を大切にし、授業と家庭学習とを関連付けることにより学習習慣の定着に努める。

(2) 「いのちの教育」を核とした豊かな心を育む教育の推進

- ① 道徳の時間を要として、道徳的実践力の育成に努める。
- ② 自他の生命や人権を尊重する教育の推進に努める。
- ③ いじめや不登校等の問題には全校体制で組織的に対応するとともに、教育相談の充実に努める。
- ④ 緊急を要する学校事故や火災、地震、津波、不審者等に備えた訓練を実施するなど、身近に起きる危険を予測・判断し、安全に行動する能力や態度を育てる指導の充実に努める。

(3) 互いに認め合い励まし合う学年・学級づくり

- ① いじめや冷やかし、からかいを生まない温かい人間関係を基盤にした学年・学級づくりに努める。
- ② 互いの違いやよさを認め合い、一人一人が自分らしさを発揮できるよう努める

(4) 美しく潤いのある学校づくり

- ① 挨拶や正しい言葉遣いなど言語環境を整え、潤いに満ちた学校づくりに努める。
- ② 身の回りの整理・整頓、清掃活動の推進など、美しい環境づくりに努める。

(5) 地域に根ざした学校づくり

- ① 学校の様子を家庭や地域に知らせたり、生徒の活動を見てもらう機会を設けたりするなど、開かれた学校づくりに努める。
- ② 校区の小学校、高等学校との連携を図るとともに、地域の人材を積極的に活用し、学校・家庭・地域が一体となって、地域を愛する生徒の育成に努める。